

— セント・ルカ産婦人科 —

# ルカ新聞

 No.11  
 2005.7.


エフェソの遺跡とザク回

## 向日葵

「目からうろこ」

この言葉は最近ではよく目にしますが、その意味が間違って使われていることもあります。この言葉は新約聖書の使徒言行録の9章に出てきます。キリスト教では有名なパウロはそのころ、サウロと呼ばれていました。しかも厳格なユダヤ教徒で、キリスト教徒を迫害するのに大きな情熱をささげていました。あるときサウロはいつものようにキリストの弟子たちを見つけ出したら男女を問わず縛り上げ、エルサレムに連行し、殺すつもりで旅をしていました。そして、ダマスカスの近くにきたとき、突然光に照らされ、倒れました。「サウロ、サウロ、なぜ私を迫害するのか」という神様の声を聞きました。そして目が見えなくなりました。その3日後、ダマスカスの「アナニヤ」というキリスト教徒が神様の言葉を伝え、サウロに使命を与えました。すると「たちまちサウロの目からうろこのようなものが落ち、元どおり目が見えるようになった」のです。

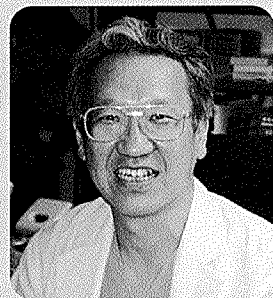
そしてその後のパウロはキリスト教の骨格を作り上げたといわれるほど重要な働きをして最後はローマで殉教しました。

神様はキリスト教徒迫害の最先頭を切っていたサウロをさえ、ご自分の味方につけました。その結果は新約聖書の後ろ半分の大部分を占める書簡集の著者であるパウロとなったのです。

このように「目からうろこ」という言葉は本来は、何かのきっかけで物事がはつきりと見え出すことを言います。

5月終わりにトルコ・イスタンブールの学芸に参加し、その際、パウロもたびたび訪れた「エフェソ」という遺跡にも行ってきました（この表紙の写真）。地中海のほとりであり、太陽が照り輝く中でこの写真にあるように「さくら」の実が生っていました。

# 生殖補助医療の質と 信頼性の向上をめざして



院長 宇津宮 隆史

日本ではいまや、1年間に体外受精等の不妊に関する高度先進医療(ART)で生まれる赤ちゃんは15,000人を超え、全出生数の1%以上を占める様になりました。恐らく全出生数の10%以上が不妊治療を受けての結果とされます。しかしここにもいくつかの問題があります。日本で体外受精を行う施設数は650になりました。アメリカでは200です。日本ではその80%以上は年間ART数が100未満と経験が少ない施設が多いということです。ART数が少ないとどうしても妊娠成績など診療の質が高く維持できません。また、ARTに臨む患者さんのなかにはさまざまな心配、悩みなどを持っている方がいます。その方々によりアドバイスをしたり情報を提供したり、さらには専門のカウンセリングで元気をつけてもらったりと、いろいろなサポート・プログラムが必要です。これらの一つ一つの分野が一定のレベル以上であることは患者さんにとっても安心です。ところが日本にはそのレベルを審査する機関はありませんでした。そこで日本でのART施設のうち、上位14施設が3カ月ごとに集まっているいろいろな面からART施設のレベル向上を目指して将来の日本のARTのありかたを話し合っています。その組織の名前をJISART日本生殖補助医療標準化機関といいます。その組織が参考にしたのはオーストラリアの同様な機関、RTACです。そこでわれわれは2年間かけてRTACの基準を勉強し、そのレベル以上の施設、スタッフ、成績などを準備してきました。そして今年2月の時点で全国10施設がオーストラリアから来た3人の専門家と患者さんの代表によってRTACの基準以上であることが認定され、当院もそのうちのひとつとなりました。まさに日本のARTの最高10施設です。さらにJISARTは患者さんの満足度を高めるためにISO9001を取得する活動もしており、当院も7月に審査を受け、認定をされる見込みです。

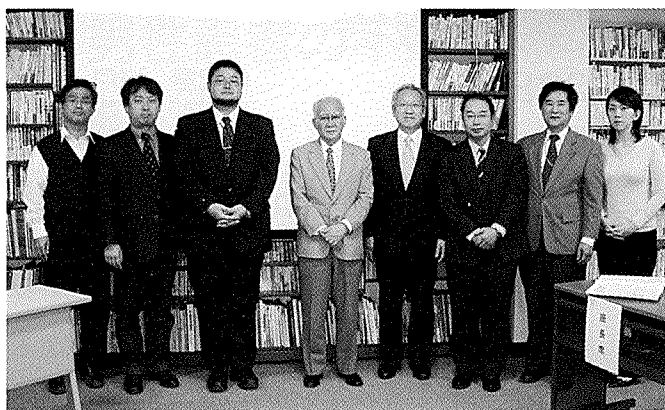
また日本の施設間でARTによる妊娠率が大きく異なっています。これはその統計の取り方が異なっているた

めです。妊娠困難な患者さんを少なくすれば妊娠率は上昇します。しかしそれでは正確とは言えず、患者さんがどの施設がよいか迷ってしまいます。国際的にもアメリカの成績はヨーロッパに比べて異常に高いことが指摘されています。アメリカでは妊娠率が低い施設には保険が下りないからです。そこでアメリカでは妊娠しにくい患者さんは初めから診療を拒否されます。または若い人の卵子を購入することを勧められます。当院のARTの患者さんの平均年齢は37歳ですからアメリカではほとんどの方が治療できません。日本でも中には妊娠率50%以上を掲げているところがありますが、これは同様な操作を行ったと思えます。そのような施設は信用できません。そこでJISARTでは施設間の統計処理方法に差がないように、統一された方法を用いることを計画しています。そのコンピューターソフトに当院の「セーラ・ベース」が選ばれました。当院では開院以来、正確、公平なデータ解析を行うために当院独自のコンピューターソフトを開発してきました。現在の「セーラ・ベース」は3代目です。それを用いて各施設がまずARTのプログラムにいる患者さんをコンピューターに登録します。そしてその患者さんは理由を入れない限り除去できないようにします。するとその施設の正確な数字が蓄積されます。それらを比較することで施設間の違いが正確にわかります。恐らくJISARTのメンバー施設では妊娠率25-35%くらいに定着するでしょう。

JISARTに属する施設は「不妊症治療に携わる医師やラボ・スタッフのレベルが高い」、「心のケアに必要な心理士がいて相談に乗ってくれる」、「公表されている妊娠率は信頼性が高い」などのような評価が得られればと思います。

このようにして日本のART実施施設の環境を整えることもわれわれに課せられた責務の一つといえます。ARTの保険適用運動に加え、行うべき事はますます増えていくようです。

## セント・ルカミニセミナー開催 2005年4月23日(土)



角沖先生 河野先生 杉野先生 森先生 院長 榎原先生 宮川先生 伊東先生

森先生のお話は当院で行っているIVMの基礎になるものでした。森先生には、いつもご指導いただいているのですが、今回のセミナー講演でさらに理解が深まりました。今後の治療方法の発展につながる知識をたくさん頂きました。

杉野先生には、最近注目を浴びているグレリンという新しいホルモンについてお話をいただきました。常に、新しい情報を取り入れていく必要性を感じました。

醍醐渡辺病院不妊センター長 京都大学名誉教授 森 崇英先生と、独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 畜産草地研究所・招聘研究員 杉野 利久先生においでいただき、勉強会を開催しました。

森先生には、「卵の発生指示能とその調節」について、杉野先生には、「新消化管ホルモン：グレリン」についてお話をさせていただきました。どちらも大変難しい学問的な内容でした。



## RTACの審査で「最も質が高い10施設」であると認定されました

全国の体外受精の総実施件数の1/3を占める、主な14施設の医療機関で構成されたJISART(日本生殖補助医療標準化機構)に当院も加盟しており、2月15日(火)にその第1回審査を受けました。



前列 院長 サンダース先生 エリザベス先生 バイク先生 後藤先生



第1回審査は、RTAC(オーストラリア不妊学会生殖補助医療認定委員会)の審査員により、治療実績や研究室の設備や環境、患者さんへの対応の仕方などを評価していただき、当院は全国の質が高い10施設のなかのひとつとして認定されました。

# 研究室だより

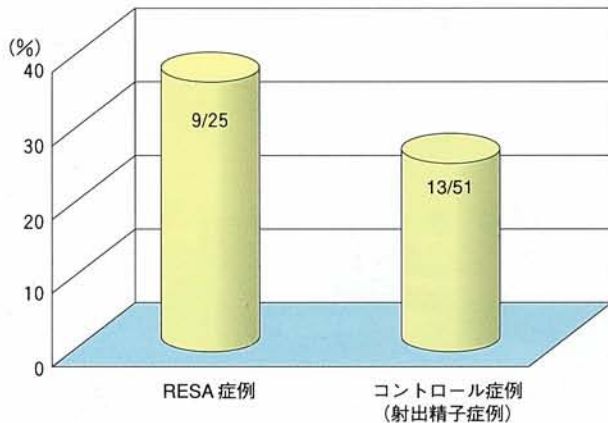
## 哺乳動物卵子学会発表報告

2005年5月21～22日

研究室 城戸 京子

体外受精妊娠困難例における逆行性精巣上体精子吸引法により採取された精巣上体精子を用いた卵細胞質内精子注入法の新しい試み

症例あたり妊娠率の比較



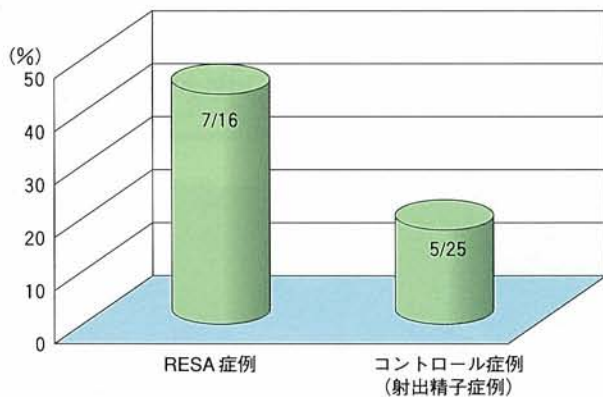
2005年5月21～22日、青森県八戸市で哺乳動物卵子学会が行われました。

以前このルカ新聞で逆行性精巣上体精子吸引法 (RESA) について紹介しましたが、妊娠困難な患者さんに緒方泌尿器科医院でRESAを行いその精子を顕微授精に用いるという試みを行った結果、有効性が確認され、本学会で報告しました。

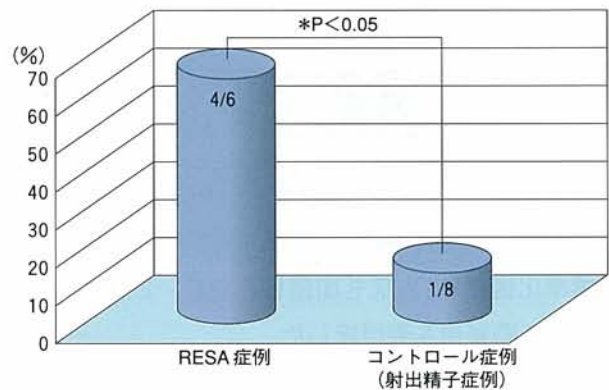


射出精液所見別の症例あたり妊娠率の比較

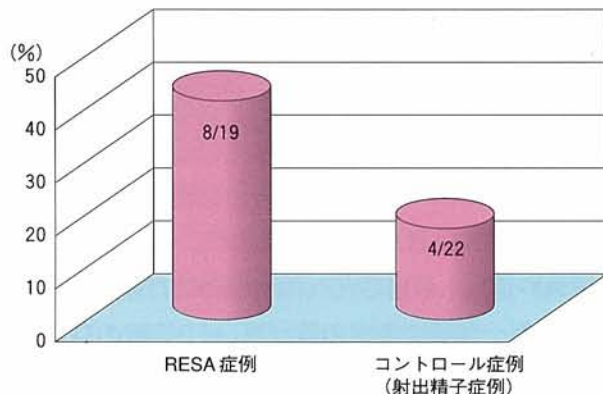
精子運動率50%未満の症例についての検討



精子奇形率70%以上の症例についての検討



strict criteria値6%未満の症例についての検討



射出精液所見別の症例あたり妊娠率の比較のグラフからわかるように、RESA施行症例の射出精子の運動率50%未満の症例、strict criteria値が6%未満の症例で妊娠率が高い傾向を示しました。また、精子奇形率70%以上の症例においては有意に高い値を示しました。

このことより、精液所見の不良な症例においてはRESA-ICSIが有効であると考えられました。

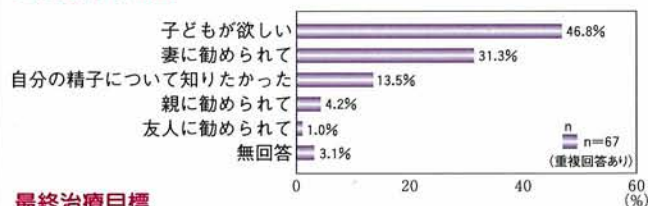
# 看護部だより

## 男性患者の不妊治療に対する意識調査 ～初診時～

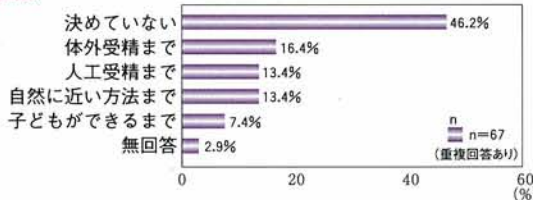
看護部 恵良 郁絵

近年、不妊治療において患者さんへのサポートの必要性が指摘され、当院では、院長をはじめ、スタッフのなんでも相談や、治療についてわかりやすく説明を交えた講座など様々な取り組みを行ってきました。また、これまでの調査を踏まえ、サポート体制を充実するように努力してまいりました。一方、現在では、不妊原因の約半数は男性側にあると言われております。当院の調査でも、約60%の男性に何らかの異常があることがわかりました。今回、初めて来院された男性患者さんにご協力をお願いし、治療に対しての色々な意見を聞かせていただきました。この結果をもとに、今後の治療に対してのサポートに役立てていきたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

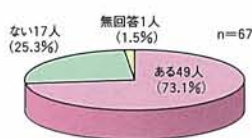
### 当院受診の理由



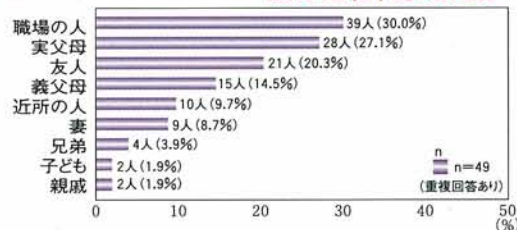
### 最終治療目標



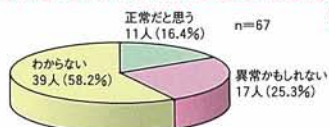
### 子どもがいないことで何か言われたことがありますか



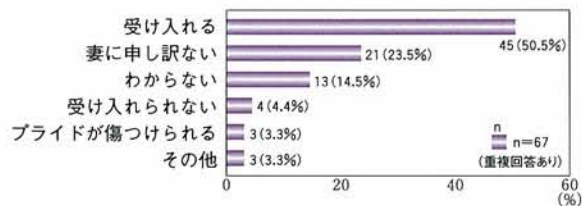
### 誰に言われましたか



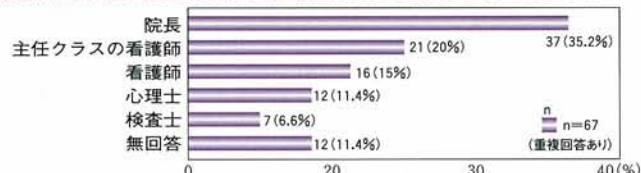
### 精液検査の結果についてどうだと思いますか (検査前)



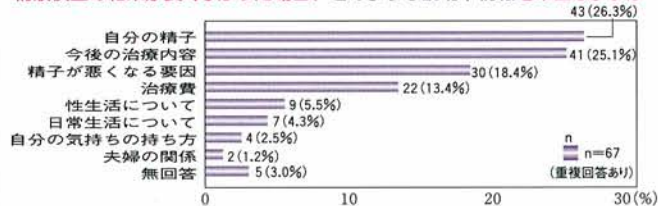
### 精液検査の結果が悪くなった場合、どのような気持ちになりますか (検査前)



### 精液検査の結果が悪くなった場合、誰の関わりを希望しますか



### 精液検査の結果が悪くなった場合、どのような説明や情報を希望しますか



- 1) 初めて来院された男性患者さんは、子どもを授かりたいと望む気持ちが強く、同時に、自分の精子に不安を持っている方が多いという結果でした。そのため、初診時から人工授精や体外受精を考えておられる方は約30%とやや多めでした。
- 2) 初診の段階では「不妊治療に対する内容」や「自分の精子」などの情理的サポートを希望する方が多いことがわかりました。一方で、子どもがいないことでのストレス、また、自分の精子への不安を抱えており、「自分の気持ちの持ち方」や「夫婦の関係について」など、情緒的サポートを希望する方も13.5%いらっしゃいました。
- 3) 今後は女性患者さんだけでなく、男性患者さんにも、初診時から情理的・情緒的サポートの両側面からのサポートを視野に入れた援助が望ましいと思われれます。

# 職員旅行

## 北海道

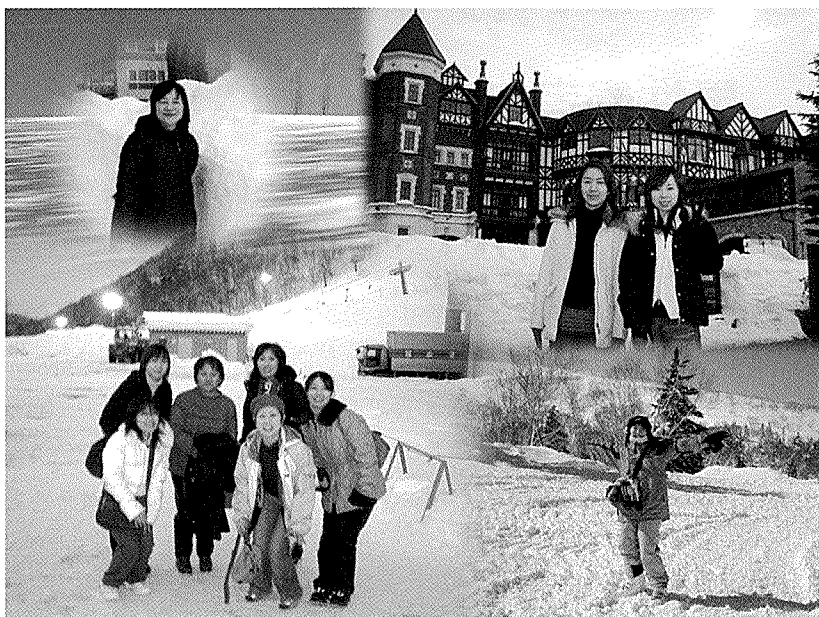
### 第一陣

2005.3.6~8



北海道は二泊三日で、三箇所のスキー場をまわり、とても楽しい時間を過ごしました。

夜はみんなでカニも食べられたし、北海道を満喫できました。テレビでよく観る「白銀の世界」に立つ事ができ、貴重な経験をさせていただきました。また機会があれば行きたいです。



## 北海道

### 第二陣

2005.3.6~8

第2班8名は3月6日より2泊3日で職員旅行へ行かせていただきました。

前日迄北海道は大雪で、飛行機が飛ばないかもと思いつつ…。

当日は雪もやみ、スキー&スノーボーを楽しみました。最高の一日になりました。

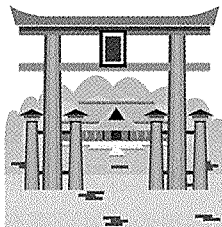
翌日はスノーボー班と観光班に分かれて北海道を堪能しました。

院長先生ご夫妻は、知床半島の流水ダイビングを楽しまれてました。



## 広島

2005.3.6~7



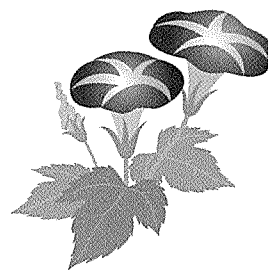
宮島を自転車で疾走。宮島が一望できるホテルで1泊しました。本場広島のお好み焼きを食べて、牡蠣食べて、幸せな三十路女、二人旅でした。

広島城で殿とお姫様になって遊んでいると、観光中の外国人さんのギャラリーができたのは恥ずかしかったけど……。いい思い出ができました！



# 心理相談室より

心理士 上野桂子



新しい治療を始める時、なかなか結果が出ない時、いろいろなことが気になって仕方がない時、気分が落ち込んでいると感じた時、どうしていいか迷う時、誰かと話したい時……。

相談室では、何を話しても大丈夫。

毎週、火・金・土曜日に心理相談を行っています。お気軽にご利用ください。

受付、またはスタッフに申し込んで下さい。  
お待ちしております。

心理士相談……毎週 火、金、土(予約制)

外来の相談係……随時

何でも相談……随時、主に毎週土曜日午後(予約制)

## 受付より

紫陽花の花が、美しい季節となりました。

今回は受付より診療後から会計までの説明を致します。

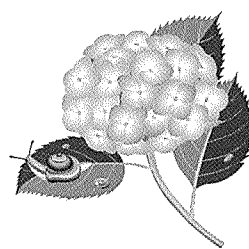
- ① 診療や処置を終えて受付にカルテが戻る。
- ② 受付は医療パソコンに診療内容入力をする。
- ③ 入力された内容が会計のパソコンに送信される。

今回の会計パソコンは診療内容が解かりやすくなった反面、医療パソコンから会計パソコンに送信されるまでにかかなり時間を要しますが今の段階では改良できません。

受付では、会計処理の短縮を目標に努力していますが、患者さんの多い日などはお待たせする事もあります。

お急ぎの方は受付に申し出て下さい。会計を次回にして帰ることもできます。(薬や次回の説明などもありますので、必ず声を掛けて下さい。) これからも温かい雰囲気大切にしながら患者さんのお役に立てるように、努めたいと思いますのでどうぞお気軽にお声を掛けて下さい。

受付 足立 小百合



NEW  
職員紹介



看護部

三重野 直美

一生懸命頑張りますので、  
よろしくお願いします。



## 2005前期を振り返って

<p>1. 4 新年会 (セント・ルカ多目的ホール)</p> <p>1. 9 日本臨床エンブリオロジスト研究会「10周年記念大会」(東京) 参加 (那須、佐藤島、城戸、院長) セミナー講演: 「妊娠率を高める培養液の検討」(平井香里)</p> <p>1.10 第12回 医療における心理臨床ワークショップ (岡山) 参加 (上野)</p> <p>1.11 第72回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>1.15 第21回 「赤ちゃん〜今ならさつと授かる〜」講座 (大分・トキハ会館) 参加者38名 講師 (上野 (心理士)、院長) 参加 (足立小、大津、篠田、河野、江藤美、江藤、原井、根岸)</p> <p>1.15 ISO 委員会会議 日本 LCA 田中氏御来院</p> <p>1.23 第2回 日本生殖医療心理カウンセリング研究会・学術集会 (東京) 参加 (平松、工藤由、渡邊、門屋、上野、根岸) 教育セミナー講演: 「生殖医療の現状と課題点、最新トピックス」(院長) 発表: 「ART 周期の名時期におけるストレス度の変化」(江藤貴美) 「男性患者の不妊治療に対する意識調査〜初診時〜」(恵良郁絵)</p> <p>1.25 市川婦人科クリニック SarahBase 統計解析指導 (大阪) 参加 (工藤由)</p> <p>1.25 石渡産婦人科 SarahBase デモンストレーション (茨城) 参加 (工藤由)</p> <p>1.26 九州臨床心理学会 (別府) 発表: 「不妊クリニックにおける心理士の取り組み」(上野桂子)</p> <p>1.29 第94回 体外受精教室 参加者46名 参加 (大津、関、足立直、斉高)</p> <p>1.29 第24回 ガーネットサークル OG 1名、参加者4名</p>	<p>4. 23 第3回 セント・ルカミニセミナー 講師 杉野 利久先生 (広島大学大学院生物圏科学研究科助手) 「新規消化管ホルモン: グレリン」 講師 森 崇英先生 (京都大学名誉教授) 「卵の発生支援能とその調節」 座長 宮川 勇生先生 (大分大学医学部名誉教授)</p> <p>4.30 第97回 体外受精教室 参加者55名 参加 (足立直、斉高)</p> <p>4.30 第2回 第3期オリブの会 参加者8名</p> <p>5. 3 品質マニュアル勉強会 日本 LCA 田中氏御来院</p> <p>5. 7 第7回 新患教室 参加者26名 参加 (平井、江藤、篠田、指山)</p> <p>5. 7 第1期・第2期 合同オリブの会 参加者5名</p> <p>5.12 ISO9001 内部監査員研修 日本 LCA 田中氏御来院</p> <p>5.14 第21回 北海道産婦人科生殖医学研究会 (北海道) 講演: 「不妊治療をめぐる当院の経験と最近の話題」(院長) 新職員 三重野直美さん (看護部)</p> <p>5.16 第76回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>5.19 岡本クリニック (大阪) Sarah Base デモンストレーション 参加 (工藤)</p> <p>5.19 ISO9001 内部監査 日本 LCA 田中氏御来院</p> <p>5.21 第16回 哺乳動物卵子学会 (八戸) 参加 (院長) 発表: 「未成熟卵における一日前培養後の ICSI (1 Day old ICSI) の検討」(那須恵) 「体外受精妊娠困難例における逆行性精巣上体精子吸引法により採取された精巣上体精子を用いた卵細胞質内精子注入法の新しい試み」(城戸京子)</p> <p>5.25 13<sup>th</sup> WORLD CONGRESS ON IN VITRO FERTILIZATION ASSISTED REPRODUCTION &amp; GENETICS (Istanbul) 参加 (院長) 発表: 「Quality of human follicular oocytes as assayed by cumulus cell morphology and progesterone production for in vitro maturation」(佐藤千賀子) 「Optimization of timing of embryo transfer by using cryopreservation」(平井香里)</p> <p>5.29 第9回 妊娠・出産をめぐる自己決定権を支える会 (東京) 参加 (門屋、上野)</p> <p>6. 2 個人情報保護対策セミナー 参加 (渡邊、長木、指山)</p> <p>6. 4 第3回 第3期オリブの会 参加者5名</p> <p>6. 4 JISART に対する SarahBase デモンストレーション 参加 (工藤由、長木)</p> <p>6. 5 JISART シンポジウム (東京) 発表 (大津) 参加 (長木、柴田、院長)</p> <p>6. 5 山王病院 Sarah Base デモンストレーション 参加 (工藤)</p> <p>6. 8 アシストセキュリティセミナー「どこまでできる!? Oracle データベースセキュリティの現実」 参加 (平松、工藤由)</p> <p>6. 9 ISO9001 事前調査 NQA-JAPAN 平手氏・勝又氏、日本 LCA 田中氏御来院</p> <p>6. 9 大分市医師会学術講演会 参加 (平松、梅田、工藤由、足立小、越名、渡邊、那須、佐藤島、佐藤千、城戸、平井、長木、関、篠田、門屋、江藤、恵良、柴田、指山、院長) 「患者第一の医療の実践—コミュニケーションが救う医療環境」 (元ジヨンス・ポプキンス病院国際部ベイスン・コーディネーター 岡本佐和子先生)</p> <p>6.10 第1回 生殖・不妊心理カウンセラー養成講座 (東京) 参加 (上野)</p> <p>6.10 「Docu Works から始めるセキュリティ対策」参加 (平松、梅田、工藤由)</p> <p>6.11 第8回 新患教室 参加者41名 参加 (熊迫、篠田、江藤)</p> <p>6.11 第25回 ガーネットサークル 参加者5名</p> <p>6.14 第77回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>6.15 IBM はぞこ教会ホームページ作成講座 ホームページ・ビルダー Ver9エディタース 参加 (梅田)</p> <p>6.16 ISO9001内部監査 日本 LCA 田中氏御来院</p> <p>6.18 第17回大分内視鏡外科手術研究会 参加 (松元、斉高、原井、指山、上野、院長) 発表: 「不妊症患者における腹腔鏡検査前後の心理」(河野桐子)</p> <p>6.21 ISO9001 マネジメントレビュー 日本 LCA 吉川氏御来院</p> <p>6.21 第87回大分周産期研究会 参加 (平松、梅田、工藤由、足立小、渡邊、那須、平井、大津、足立直、斉高、松元、関、篠田、江藤、恵良、越光、原井、柴田、指山、上野、根岸、院長) 発表: 「不妊症患者における腹腔鏡検査前後の心理」(河野桐子)</p> <p>6.23 ISO9001 文書審査 NQA-JAPAN 両角氏、宮口氏御来院</p> <p>6.24 石川クリニック エンブリオロジスト 小野崎美絵先生 Sarah Base 見学のため御来院</p> <p>6.25 石川クリニック 看護部長 大谷久子先生 小野崎美絵先生 Sarah Base 見学のため御来院</p> <p>6.25 第98回 体外受精教室 参加者73名 参加 (足立直、斉高、恵良)</p> <p>6.26 石川クリニック 石川元春先生 ・ラボディレクター 石川慶子先生 Sarah Base 見学のため御来院</p>
<p>2. 1 ISO 委員会会議 日本 LCA 田中氏御来院</p> <p>2. 5 第5回 新患教室 参加者26名 参加 (足立小、平井、篠田、河野、江藤)</p> <p>2. 5 平成16年度 (第2回) 大分県医師会 IT フェア 参加 (平松、工藤由)</p> <p>2. 8 第73回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>2.15 RTAC 審査</p> <p>2.17 ISO 委員会会議 日本 LCA 田中氏御来院</p> <p>2.18 きよせの森総合病院副理事長長谷津院生学のため御来院</p> <p>2.21 京大名誉教授 醍醐源辺クリニック 不妊センター長 森崇英先生とのミーティング (京都) 参加 (佐藤千)</p> <p>2.22 第86回 大分周産期研究会 参加 (平松、工藤由、渡邊、篠田、関、門屋、江藤美、江藤、斉高、赤嶺、原井、指山、根岸、院長) 発表: 「サポート・グループ参加が不妊症患者の心理的ストレスに及ぼす効果について」(上野桂子)</p> <p>2.26 第95回 体外受精教室 参加者34名 参加 (足立小、恵良、斉高)</p> <p>2.26 第6回 第1期・第2期合同オリブの会 参加者5名</p> <p>3. 1 金沢医科大学 吉田勝彦先生研究のため御来院 (〜3/26まで)</p> <p>3. 3 大分臨床談話会 参加 (工藤由、渡邊、柴田、指山、根岸) 講演: 「生命の始まりの神秘と環境」(院長)</p> <p>3. 5 第6回 新患教室 参加者24名 参加 (長木、篠田、河野、江藤)</p> <p>3. 6 職員旅行 (北海道組 第1陣) 参加 (平松、工藤由、足立小、梅田、渡邊、佐藤島、長木、二宮、門屋、原井、上野、院長)</p> <p>3. 6 職員旅行 (広島組) 参加 (公文、大津)</p> <p>3.10 ISO 委員会会議 日本 LCA 田中氏御来院</p> <p>3.12 第9回 日研シンポジウム (東京) 参加 (院長)</p> <p>3.13 日本生殖医療標準化機関 (JISART) ミーティング (東京) 参加 (院長)</p> <p>3.13 職員旅行 (北海道組 第2陣) 参加 (那須、城戸、平井、足立直、関、篠田、江藤、恵良)</p> <p>3.15 第74回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>3.17 第4回 秋田県産科・内分科学研究会 (秋田) 特別講演: 「不妊治療をめぐる当院の経験と最近の話題」(院長)</p> <p>3.19 第96回 体外受精教室 参加者39名 参加 (足立小、足立直、恵良、斉高、根岸)</p> <p>3.19 第1回 第3期オリブの会 参加者4名</p> <p>3.25 個人情報保護法施行に伴う説明会 参加 (工藤由、渡邊、長木、柴田、指山、院長)</p> <p>3.26 宮川勇生教授退職記念講演会 参加 (平松、工藤由、足立小、梅田、越名、渡邊、那須、佐藤島、佐藤千、城戸、公文、平井、大津、長木、関、足立直、門屋、江藤美、江藤、斉高、指山、根岸、院長) 「生殖医療はいま...」(熊本大学大学院医学薬学研究所 産科学分野教授 岡村均先生) 「17年間の教育・研究・診療を振り返って」 (大分大学医学部 産科婦人科学教授 宮川勇生先生)</p>	<p>4. 2 セント・ルカ産婦人科&amp;メディテック・ルカ合同お花見 (大分・平和市民公園)</p> <p>4. 3 日本生殖医療心理カウンセリング研究会世話人会議 (京都) 参加 (上野、院長)</p> <p>4. 5 個人情報保護法対応講習講座および ISO 委員会会議 日本 LCA 田中氏御来院</p> <p>4. 8 第21回 大分市医師会産婦人科〜内分・不妊・代謝〜懇話会 参加 (平松、工藤由、足立小、梅田、越名、渡邊、那須、佐藤島、城戸、長木、工藤美、柴田、指山、上野、根岸、院長) 「母体血清マーカーテストによる出生前スクリーニングの意義」 (東京慈恵会 医科大学産婦人科 田中忠夫先生)</p> <p>4. 9 第22回 「赤ちゃん〜今ならさつと授かる〜」講座 (大分・トキハ会館) 参加者58名 講師 (上野 (心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生) 参加 (越名、熊迫、河野、江藤、篠田、指山、根岸)</p> <p>4.12 第75回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>4.14 ISO 委員会会議 日本 LCA 田中氏御来院</p> <p>4.15 第8回 全国産科・オラルテクノロジーセミナー in 大分 参加 (平松、工藤由)</p> <p>4.17 第62回 日本不妊学会九州支部会 (福岡) 参加 (根岸、院長) 発表: 「未成熟卵における1日前培養後の ICSI (1 day old ICSI) の検討」(那須恵) 「体外受精妊娠困難例における逆行性精巣上体精子吸引法により採取された精巣上体精子を用いた卵細胞質内精子注入法の新しい試み」(城戸京子) 「男性患者の不妊治療に対する意識調査〜初診時〜」(恵良郁絵) 「治療最終期の意思決定に対する患者の心理 〜妊娠に至らず治療終了を決定した患者を囲んで〜」(上野桂子)</p>
<p>4. 9 第22回 「赤ちゃん〜今ならさつと授かる〜」講座 (大分・トキハ会館) 参加者58名 講師 (上野 (心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生) 参加 (越名、熊迫、河野、江藤、篠田、指山、根岸)</p> <p>4.12 第75回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>4.14 ISO 委員会会議 日本 LCA 田中氏御来院</p> <p>4.15 第8回 全国産科・オラルテクノロジーセミナー in 大分 参加 (平松、工藤由)</p> <p>4.17 第62回 日本不妊学会九州支部会 (福岡) 参加 (根岸、院長) 発表: 「未成熟卵における1日前培養後の ICSI (1 day old ICSI) の検討」(那須恵) 「体外受精妊娠困難例における逆行性精巣上体精子吸引法により採取された精巣上体精子を用いた卵細胞質内精子注入法の新しい試み」(城戸京子) 「男性患者の不妊治療に対する意識調査〜初診時〜」(恵良郁絵) 「治療最終期の意思決定に対する患者の心理 〜妊娠に至らず治療終了を決定した患者を囲んで〜」(上野桂子)</p>	<p>「院長」 「赤ちゃんがやってくる はやく気づいて! 不妊症」(有限会社メディテック・ルカ) 「ART 治療の経済的負担と公的支援」「COMETICALのための ART マニュアル」 (永井書店) (印刷中)</p> <p>「上野」 「生殖医療のグループカウンセリング」「加齢患者に対するカウンセリング」 「COMETICALのための ART マニュアル」(永井書店) (印刷中)</p> <p>論文 「院長」 「Transfer of Embryos Vitrified and Thawed by Ascertain Synchronicity between Embryonic Development and Endometrial Maturity to Determine the Implantation Window.」 Hum. Reprod. (投稿中) 「熊迫陽子」 「Successful pregnancy after the vitrification of zygotes using commercial vitrification solutions and conventional straw to protect from infections in the liquid of nitrogen.」 J Assist Reprod Genet (Vol. 22, No.1 January 2005) 「公文麻美」 「体外受精後未受精卵であった前核形成阻害の原因解析」日本受精着床学会 (投稿中)</p>

### 妊娠報告件数

(2004.12.1~2005.5.31)

体外受精、顕微授精等

**63件**

\*

その他(体外受精以外)

**78件**

**計 141件**

### 編集後記

2005年5月25日に日本を出発し、第13回世界体外受精会議へ参加してきました。

飛行機に乗って12時間。私たちはトルコへ行かさせていただきました。世界各国からの最先端技術についての報告を聞くことができ、とても良い刺激をうけ、勉強になったと思います。

この写真はトルコのイスタンブールを歩いていたところ一緒に写真に写ることを頼まれました。私のお気に入りとなった思い出の一枚です。



K.H  
イスタンブールの街角にて